

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	440	地区文化活動推進補助事業												
	この事務事業 の位置		政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち													
			施策	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう													
			基本事業	文化・芸術													
	主管課名		生涯学習推進課			課長名	橋本 慎一郎										
	この事務事業の開始時期		平成13年度		事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務											
	この事務事業の根拠法令		みよし市地域文化活動等推進事業補助金要綱														
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由												
	生涯学習の普及及び推進を図ることを目的に、生涯学習活動を積極的に推進する団体又は新たに生涯学習活動を始める団体に、その活動を支援する。				行政区や生涯学習活動団体等が行う自主的な生涯学習講座に対し、必要な経費を助成することにより、継続的な活動ができるように支援を実施する。												
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等				各行政区が開催する展示発表会、芸能発表会の場を提供し、地域の活性化を図ることを目的に、各行政区で実施される文化事業に補助金を交付する。行政区に限らず、コミュニティの推進としてコミュニティ推進協議会の申請も可能とする。												
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）												
変 化 内 容	令和元年度から生涯学習活動事業と統合し、生涯学習活動団体についても本事業で補助金を交付する。				<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>文化活動開催回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				名称		単位	①	文化活動開催回数	回	②		
					名称		単位										
					①	文化活動開催回数	回										
②																	
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）												
①行政区 ②市民					<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>行政区数</td> <td>行政区</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>人口</td> <td>人</td> </tr> </table>				名称		単位	①	行政区数	行政区	②	人口	人
					名称		単位										
					①	行政区数	行政区										
②	人口	人															
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）												
市民の文化及び芸術に対する意識の高揚を図る。					<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>文化事業を実施した行政区</td> <td>行政区</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>文化事業に出品した人数</td> <td>人</td> </tr> </table>				名称		単位	①	文化事業を実施した行政区	行政区	②	文化事業に出品した人数	人
					名称		単位										
					①	文化事業を実施した行政区	行政区										
②	文化事業に出品した人数	人															
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）												
自主的な生涯学習活動の推進を図る。					<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>生涯学習に満足している人の割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				名称		単位	①	生涯学習に満足している人の割合	%	②		
					名称		単位										
					①	生涯学習に満足している人の割合	%										
②																	
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標																	
指標 \ 年度		単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値								
(1) の 活動指標		① 回			20	10	25	25	25								
		②															
(2) の 対象指標		① 行政区			25	12	25	25	25								
		② 人			61,040	61,570	62,100	62,360	62,620								
(3) の 成果指標		① 行政区			15	10	20	20	20								
		② 人			3,570	2,000	3,500	3,500	3,500								
(4) の結果の 成果指標		① %			37.1	50	50	50	50								
		②															
予算費目		会計	01 一般会計				款 10	項 05	目 03								
コスト		年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値								
事業費(決算又は予算額) A		単位	0	0	1,942	1,355	1,355	1,355	1,355								
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0								
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0								
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0								
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0								
	一般財源	千円	0	0	1,942	1,355	1,355	1,355	1,355								
人件費 B		千円	0	0	1,092	1,344	1,344	1,344	1,344								
正職員従事時間×人数		時間×人	0×0	0×0	325×1	400×1	400×1	400×1	400×1								
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0								
その他の費用 C		千円	0	0	0	0	0	0	0								
トータルコスト A+B+C		千円	0	0	3,034	2,699	2,699	2,699	2,699								
単位あたりコスト		① 千円/行政区	0	0	121.4	224.9	108	108	108								
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/人	0	0	0	0	0	0	0								

事務事業名		No.	440	地区文化活動推進補助事業		
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない	理 由	近年、文化祭等の文化活動を実施している行政区が増加している。	
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありますか？	☐ ある ☒ ない	その理由	対象となる範囲に変化がないため。	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありますか？	☐ ある ☒ ない	その理由	目的内容に変化がないため。	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容	P R活動の充実により新たな生涯学習活動団体を確保していく。		
		目的達成状況	内 容	近年、文化祭等の文化活動を実施している行政区が増加している。		
		市関与の必要性（実施手法）	内 容	☐ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金・負担金助成 ☐ 市の直営 行政区や生涯学習活動団体等が行う自主的な生涯学習講座に対し、補助金を交付する。		
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容	令和元年度から他の事務事業と統合した。他に類似する事業がないため、統合できない。		
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等ではないか？）	内 容	令和元年度に他の事務事業と統合した際に、補助金の見直しを行った。補助対象の精査や事務の取組方法を工夫、改善を進めていく。		
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☒ ある ☒ 現状で適正 ☐ ない ☐ 検討が必要 ☐ 受益者がいない	内 容	行政区や生涯学習活動団体が一部負担することで受益者負担している。	
	3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見	近年、文化祭を実施する行政区や生涯学習講座に取り組む行政区が固定化しつつある。	対応策	今後はコミュニティ活動単位の事業へ移行することを検討していく。新たに生涯学習活動を推進する団体の発掘や、団体への啓発の方法を調査、研究する。
R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度	地区文化事業推進補助金の実施	変 更 ・ 追 加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。	
今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案			
☐ 拡大 ☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 今後はコミュニティ活動単位の事業へ移行することを検討していく。 新たに生涯学習活動を推進する団体の発掘や、団体へのP R方法を調査、研究していく。			
コストの方向性			→ 維持			
成果の方向性			→ 維持			

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名	No.	441	みよし市文化協会補助事業													
	この事務事業 の位置	政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち														
		施策	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう														
		基本事業	文化・芸術														
	主管課名	生涯学習推進課			課長名	橋本 慎一郎											
	この事務事業の開始時期	昭和43年度			事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務											
	この事務事業の根拠法令	みよし市文化協会事業補助金交付要綱															
	事業の概要	現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由															
	本市における文化・芸術団体の育成を図ることを目的に、文化協会の芸術文化活動費及び運営費に対し助成をしている。				各部会への支援や会報誌の発行など、文化協会の活動を活発化させることにより、文化・芸術活動への市民の関心を高める。												
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等				・自主事業の展示事業として、サンアート、アイモール、イオンに毎月展示をした。 ・市民茶会を年3回実施。七夕茶会を年1回実施。 ・会報誌「みよし文協」の年2回発行。 ・文芸誌の年1回発行など文化・芸術活動を積極的に展開した。												
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか				(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）													
変 化 内 容	現在事業途中のため現状のまま継続して実施			<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>文化協会活動日数</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					名称		単位	①	文化協会活動日数	日	②		
	名称		単位														
	①	文化協会活動日数	日														
②																	
対象(この事業の対象、範囲となる人、物) みよし市文化協会に所属している団体				(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）													
				<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>文化協会団体数</td> <td>団体</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					名称		単位	①	文化協会団体数	団体	②		
名称		単位															
①	文化協会団体数	団体															
②																	
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか) 自主的に活動を行うことができるようにする。				(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）													
				<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>自主的な活動グループ数</td> <td>団体</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					名称		単位	①	自主的な活動グループ数	団体	②		
名称		単位															
①	自主的な活動グループ数	団体															
②																	
結果(上位基本事業の意図) 自主的に学んできた活動の成果を発表する。				(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）													
				<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>発表の機会の数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					名称		単位	①	発表の機会の数	回	②		
名称		単位															
①	発表の機会の数	回															
②																	
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標																	
指標 \ 年度		単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値								
(1) の 活動指標	①	日			70	70	70	70	70								
	②																
(2) の 対象指標	①	団体			29	30	30	30	30								
	②																
(3) の 成果指標	①	団体			65	65	65	65	65								
	②																
(4) の結果の 成果指標	①	回			3	2	2	2	2								
	②																
予算費目	会計	01 一般会計					款	10	項	05	目	03					
コスト		年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値								
事業費(決算又は予算額) A		単位	0	0	4,123	3,000	3,000	3,000	3,000								
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0								
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0								
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0								
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0								
	一般財源	千円	0	0	4,123	3,000	3,000	3,000	3,000								
人件費 B		千円	0	0	2,520	3,696	3,696	3,696	3,696								
正職員従事時間×人数		時間×人	0×0	0×0	750×1	550×2	550×2	550×2	550×2								
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0								
その他の費用 C		千円	0	0	0	0	0	0	0								
トータルコスト A+B+C		千円	0	0	6,643	6,696	6,696	6,696	6,696								
単位あたりコスト ①		千円/団体	0	0	229.1	223.2	223.2	223.2	223.2								
(トータルコスト/(2)の対象指標) ②		千円/	0	0	0	0	0	0	0								

事務事業名		No.	441		みよし市文化協会補助事業		
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない		理 由	文化・芸術団体の育成が図られており、積極的に活動を展開している。	
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない		その理由	対象となる範囲に変化がないため。	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない		その理由	目的内容に変化がないため。	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容		みよし市文化協会の各部会の自主性を尊重し、団体数の増加に向けて活動していく。		
		目的達成状況	内 容		会員の高齢化などにより、会員数・団体数の維持が難しい状況である。		
		市関与の必要性（実施手法）	内 容		☐ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金・負担金助成 ☐ 市の直営 みよし市文化協会へ補助金を交付する。		
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容		他に類似する事業がないため、統合できない。		
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はいできないか？）	内 容		従事時間の削減や受益者負担割合を増やす。		
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☒ ある ☒ 現状で適正 ☐ ない ☐ 検討が必要 ☐ 受益者がいない		内 容	みよし市文化協会が一部負担することで、受益者負担している。	
	3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見	会員の高齢化などにより、会員数・団体数の維持が難しくなっている。		対応策	積極的に各団体、グループ等の活動をPRしていく。 生涯学習講座で入門編の講座を開催し、新規加入を増やす。
R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度	春の文化展、公募美術展、文化祭、西三河部芸能大会		変 更 ・ 追 加	春の文化展、公募美術展、文化祭	
今後の事業・コスト・成果の方向性				今後の事業の方向性、改革・改善案			
☐ 拡大 ☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止				※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 文化協会の自立に向け、専任職員の育成、協会組織の見直し、市の関与のあり方等を検討していく。			
コストの方向性				→ 維持			
成果の方向性				→ 維持			

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	442	文化事業委託事業							
	この事務事業 の位置		政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち								
			施策	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう								
	基本事業		文化・芸術									
	主管課名		生涯学習推進課			課長名	橋本 慎一郎					
	この事務事業の開始時期		昭和43年度			事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		なし									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	春の文化展、文化祭(秋)、公募美術展を文化協会に委託し、サンアートで実施している。 春の文化展 5月 公募美術展 9月 文化祭 11月					芸能発表や作品展示を実施する事により、作品出品者のレベルの向上、鑑賞者（市民）の文化・芸術意識の高揚や文化芸術活動の参加促進につながる。						
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等		・春の文化展では展示発表に385点を出展、芸能発表には14団体が参加 ・文化祭では展示発表に948点を出展（菊展示含む）、芸能発表には13団体が参加 ・公募美術展では186点の応募があった。									
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	現在事業途中のため現状のまま継続して実施				名称		単位					
					① 開催日数	日						
					②							
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
①文化協会会員数 ②公募美術展応募者数					名称		単位					
					① 文化協会会員数	人						
					② 公募美術展応募者数	人						
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
文化・芸術の技能を高めてもらう					名称		単位					
					① 出品点数	点						
					② 出演人数	人						
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
文化芸術活動に参加してもらう					名称		単位					
					① 自主的な活動グループ	団体						
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込み及び目標												
指標 \ 年度		単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
(1)の 活動指標		① 日			18	18	18	18	18			
		②										
(2)の 対象指標		① 人			704	800	800	800	800			
		② 人			144	150	150	150	150			
(3)の 成果指標		① 点			1,300	1,500	1,500	1,500	1,500			
		② 人			702	350	350	350	350			
(4)の結果の 成果指標		① 団体			60	65	65	65	65			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	05	目	03
コスト		年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	0	0	5,035	4,535	4,085	5,085	5,085			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	0	0	5,035	4,535	4,085	5,085	5,085			
人件費B		千円	0	0	3,615.4	3,696	3,696	3,696	3,696			
正職員従事時間×人数		時間×人	0×0	0×0	538×2	550×2	550×2	550×2	550×2			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C		千円	0	0	75	75	75	75	75			
トータルコストA+B+C		千円	0	0	8,725.4	8,306	7,856	8,856	8,856			
単位あたりコスト ①		千円/人	0	0	12.4	10.4	9.8	11.1	11.1			
(トータルコスト/(2)の対象指標) ②		千円/人	0	0	60.6	55.4	52.4	59	59			

様式1-2

事務事業名		No.	442	文化事業委託事業		
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない	理 由	春の文化展、公募美術展、文化祭を文化協会に委託して開催しているが、毎年計画値を達成している。	
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない	その理由	対象となる範囲に変化がないため。	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない	その理由	目的内容に変化がないため。	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容	P R活動の充実により参加者の増加を図る。		
		目的達成状況	内 容	文化展、文化祭の参加者が高齢化しており減少傾向である。		
		市関与の必要性（実施手法）	内 容	☐ 民間への一部委託 ☒ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金・負担金助成 ☐ 市の直営 みよし市文化協会へ文化事業を委託する。		
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容	他に類似する事業がないため、統合できない。		
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等ではないか？）	内 容	仕様の変更により削減することができる。		
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☐ ある ☐ 現状で適正 ☒ ない ☒ 検討が必要 ☐ 受益者がいない	内 容	文化祭、公募美術展において、出品者や出演者に受益者負担してもらう。	
	3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見	文化協会会員の高齢化により、参加者が減少している。		対応策
R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度	春の文化展 公募美術展 文化祭	5月 9月 11月	変 更 ・ 追 加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案			
☐ 拡大 ☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 親子参加型の事業や生涯学習講座を通じて、文化協会の新たな会員の発掘に努めていく。			
コストの方向性			→ 維持			
成果の方向性			→ 維持			

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	373	文化財保護委員会運営事業				
	この事務事業 の位置		政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち					
			施策	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう					
			基本事業	文化・芸術					
	主管課名		教育行政課			課長名	林 久義		
	この事務事業の開始時期		昭和47年度			事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務		
	この事務事業の根拠法令		文化財保護法、みよし市文化財保護条例						
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由			
	①文化財保護委員会は、10名以内の学識経験者で組織される教育委員会の附属機関である。 ②文化財の保存、活用、指定等に関し教育委員会の諮問に答え、または教育委員会に意見を具申し、及びこのために必要な調査研究を行う。					現在の状況 ①文化財に関する諮問に対する審議（文化財指定や購入の適否） ②研修会の実施 根拠または理由 文化財保護委員会は、文化財保護法に基づき設置されており、文化財の保存及び活用に関しては、専門的な識見を有する者の意見を聞きながら進める必要があるため。			
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			①文化財保護委員会会議 1 回 ②研修会 3 回					
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）				
変 化 内 容	文化財保護法が改正され、文化財の活用がより求められるなど、文化財を取り巻く環境は大きく変化しており、それに伴い文化財保護委員会の担う役割が増してきている。				名称		単位		
					① 文化財保護委員会の開催回数	回			
					② 文化財保護委員会研修会の実施回数		回		
対象(この事業の対象、範囲となる人、物) 文化財保護委員					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）				
					名称		単位		
					① 文化財保護委員の人数		人		
					②				
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか) 文化財に関する諮問及び重要事項を審議し、教育委員会に意見を提出してもらう。					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）				
					名称		単位		
					① 文化財に関する答申等の件数		件		
					②				
結果(上位基本事業の意図) 史跡、歴史的資料と伝統芸能を保存し、次代に継承する。					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）				
					名称		単位		
					① 文化・芸術の取組みに満足した人の割合		%		
					②				
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標									
指標 \ 年度		単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値
(1) の 活動指標		① 回			1	2	2	2	2
		② 回			3	2	2	2	2
(2) の 対象指標		① 人			6	7	7	7	7
		②							
(3) の 成果指標		① 件			0	1	1	1	1
		②							
(4) の結果の 成果指標		① %			71	71	71	71	75
		②							
予算費目		会計	01 一般会計				款 10	項 05	目 06
コスト		年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値
事業費(決算又は予算額) A		単位	0	0	129	301	301	302	302
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	129	301	301	302	302
人件費 B		千円	0	0	725.8	725.8	725.8	725.8	725.8
正職員従事時間×人数		時間×人	0×0	0×0	54×4	54×4	54×4	54×4	54×4
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0
その他の費用 C		千円	0	0	2	2	2	2	2
トータルコスト A+B+C		千円	0	0	856.8	1,028.8	1,028.8	1,029.8	1,029.8
単位あたりコスト ①		千円/人	0	0	142.8	147	147	147.1	147.1
(トータルコスト/(2)の対象指標) ②		千円/	0	0	0	0	0	0	0

様式1-2

事務事業名		No.	373		文化財保護委員会運営事業		
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない	理 由	適切な意見具申により文化財保護が図られている。		
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	☒ ある ☐ ない	その理由	文化財保護法の改正等により保護委員に求められる役割が増加しており、学識経験や専門性を考慮して、適宜委員を選任していく必要がある。		
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない	その理由	教育委員会からの諮問に対する答申であるため。		
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容	教育委員会からの諮問を受けて審議した結果の答申であり、成果の向上は図れない。			
		目的達成状況	内 容	教育委員会からの諮問に対し、適切な答申をいただいているので、現時点で十分に達成されている。			
		市関与の必要性（実施手法）	内 容	☐ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金・負担金助成 ☒ 市の直営 法令によるため			
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容	市が単独で実施すべき事業であり、かつ類似事業がないため、統廃合できない。			
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等ではないか？）	内 容	事業の性格上、これ以上の事業費・人件費の削減は図れない。			
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☐ ある ☐ 現状で適正 ☐ ない ☐ 検討が必要 ☒ 受益者がいない	内 容	直接的な受益者はいない。		
	3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見	新たなに指定を検討してはどうかという文化財がいくつかある。		対応策	広い視野を持って文化財保護に取り組めるよう、委員の資質向上と他市町村の取り組み状況の調査を行う。
R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度	文化財保護委員 6 名		変 更 ・ 追 加	文化財保護委員 7 名	
今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案				
☐ 拡大 ☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 文化財を保存・活用し、次代に継承するため現状の水準を維持する。				
コストの方向性			→ 維持				
成果の方向性			→ 維持				

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	374	有形文化財保存活動支援事業												
	この事務事業 の位置		政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち													
			施策	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう													
			基本事業	文化・芸術													
	主管課名		教育行政課			課長名	林 久義										
	この事務事業の開始時期		昭和56年度			事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務										
	この事務事業の根拠法令		文化財保護法、みよし市文化財保護条例														
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由											
	①市指定有形文化財の所有者及び管理者（以下「文化財管理者」という）と協働して、これを良好な状態で保存するため、文化財管理者の活動を支援する。 ②昭和56年に山車3台（うち1台は平成16年11月解除）、昭和58年11月に金比羅宮、平成23年8月に石川家住宅が、それぞれ有形文化財に指定された。 ③平成27年12月13日にあいち山車まつり日本一協議会が設立された。					現在の状況 申請のあった文化財管理者へ文化財保存事業補助金交付要綱によって補助金を交付している。 根拠または理由 有形文化財を適切に保護し、良好な状態で保存することで、次代に継承していくための支援は、市の責務で行う必要があるため。											
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			①文化財管理者に当該文化財の保存に関わる活動経費の一部を補助する旨を通知 ②補助金交付申請書を受理し、内容審査したのちに補助金交付決定を通知 ③事業完了後、事業実績報告書を受理し、内容審査したのちに補助金を交付 ④平成31年度は、三好上山車保存会及び三好下山車保存会の2団体に交付													
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）												
変 化 内 容	①文化財管理者の組織変化や高齢化が一部で進んでいる。 ②文化財保護法の改正により、活用を視野に入れた保護が求められている。 ③各文化財とも作られてから年数が相当程度経っており、日々劣化が進行している。				<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>補助金交付団体の数</td> <td>団体</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				名称		単位	①	補助金交付団体の数	団体	②		
	名称		単位														
	①	補助金交付団体の数	団体														
②																	
対象（この事業の対象、範囲となる人、物）				(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）													
市指定有形文化財 ・山車2台（三好上・下区）、金比羅宮（酒井家）、石川家住宅				<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>市指定有形文化財の件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				名称		単位	①	市指定有形文化財の件数	件	②			
名称		単位															
①	市指定有形文化財の件数	件															
②																	
目的（この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか）				(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）													
市指定有形文化財が良好な状態で保存される。				<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>保存されている市指定有形文化財の件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				名称		単位	①	保存されている市指定有形文化財の件数	件	②			
名称		単位															
①	保存されている市指定有形文化財の件数	件															
②																	
結果（上位基本事業の意図）				(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）													
史跡、歴史的資料と伝統芸能を保存し、次代に継承する。				<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>文化・芸術の取組みに満足した人の割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				名称		単位	①	文化・芸術の取組みに満足した人の割合	%	②			
名称		単位															
①	文化・芸術の取組みに満足した人の割合	%															
②																	
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標																	
指標 \ 年度		単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値								
(1) の 活動指標	①	団体			2	2	2	2	2								
	②																
(2) の 対象指標	①	件			4	4	4	4	4								
	②																
(3) の 成果指標	①	件			4	4	4	4	4								
	②																
(4) の結果の 成果指標	①	%			71	71	71	71	75								
	②																
予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	05	目	06					
コスト		年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値								
事業費（決算又は予算額）A		単位	0	0	930	930	930	930	930								
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0								
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0								
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0								
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0								
	一般財源	千円	0	0	930	930	930	930	930								
人件費B		千円	0	0	1,444.8	1,444.8	1,444.8	1,444.8	1,444.8								
正職員従事時間×人数		時間×人	0×0	0×0	215×2	215×2	215×2	215×2	215×2								
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0								
その他の費用C		千円	0	0	10	10	10	10	10								
トータルコストA+B+C		千円	0	0	2,384.8	2,384.8	2,384.8	2,384.8	2,384.8								
単位あたりコスト		① 千円/件	0	0	596.2	596.2	596.2	596.2	596.2								
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/	0	0	0	0	0	0	0								

事務事業名		No.	374	有形文化財保存活動支援事業			
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない		理由	補助金により定期的な小規模修繕が実施され、維持が図られており、十分な成果が得られている。	
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	☒ ある ☐ ない		その理由	新たに価値が見出された文化財を、市指定有形文化財とした場合は、対象を拡大する必要がある。	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	☒ ある ☐ ない		その理由	活用を視野に入れた保存計画等の策定をした場合は、活用を含めた保存・維持活動も目的とするように拡充する必要がある。	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容		①毎年の小規模修繕や細やかな指導を行うことで、大規模修繕を遅らせることができる。 ②活用を視野に入れた保存計画等を策定した場合は、国等の補助対象となりうる可能性がある。		
		目的達成状況	内 容		いずれの有形文化財も現在のところ大きな棄損等はないため、おおむね達成できている。		
		市関与の必要性（実施手法）	内 容		☐ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金・負担金助成 ☐ 市の直営 補助金により文化財管理者と負担を分担		
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容		国や民間団体等の事業は限定的であり、かつ目的が一部異なるため類似事業とは言えず、統廃合できない。		
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等ではないか？）	内 容		事務の効率化をこれ以上図ることは難しく、事業費等の削減はできない。		
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☒ ある ☒ 現状で適正 ☐ ない ☐ 検討が必要 ☐ 受益者がいない		内 容	補助額及び補助率は適正である。	
	3 改革 改善 案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見	大規模修繕について、さらなる支援を求める要請が、文化財管理者から出ている。		対応策	山車の曳き回しや経年劣化に伴う大規模な改修費用に対する支援が必要となる。
R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度	2団体（三好上山車保存会及び三好下山車保存会）		変 更 追 加	申請する団体数が変わらないため変更なし。	
今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案				
☐ 拡大 ☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 ①文化財管理者において、これを良好な状態で維持保存する取組を継続することが、当該文化財の保存につながるものであり、現状の水準を維持する。 ②未指定の文化財も含む、活用を視野に入れた保存計画等の策定を検討する必要がある。				
コストの方向性			→ 維持				
成果の方向性			→ 維持				

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	375	郷土芸能保存活動支援事業							
	この事務事業 の位置		政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち								
			施策	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう								
			基本事業	文化・芸術								
	主管課名		教育行政課			課長名	林 久義					
	この事務事業の開始時期		昭和56年度			事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		文化財保護法、みよし市文化財保護条例									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	囃子や棒のど手といった郷土芸能を保存する団体と協働して、郷土芸能を後世に伝承するため、当該団体の活動を支援する。					現在の状況 申請のあった郷土芸能保存団体へ文化財保存事業補助金交付要綱によって補助金を交付している。 根拠または理由 郷土芸能は、その地域独自の特色を備えており、それらを保存し、後世に伝え残すための支援は、市の責務であるため。						
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等					①郷土芸能保存団体が行う郷土芸能の保存活動経費の一部を補助する旨を通知 ②補助金交付申請書を受理し、内容審査したのちに補助金交付決定を通知 ③事業完了後、実績報告書を受理し、内容審査したのちに補助金を交付 ④平成31年度は、三好上山車保存会はじめ8団体に交付						
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	保存団体の構成員の多様化や若年層の加入減少などにより、後継者の育成が課題となっている。				名称			単位				
					① 補助金交付団体の数			団体				
					②							
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
地域に伝わる郷土芸能 ・囃子、棒の手					名称			単位				
					① 郷土芸能保存団体の数			団体				
					②							
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
郷土芸能が着実に次代へ伝承される。					名称			単位				
					① 保存活動を継続する保存団体の数			団体				
					②							
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
史跡、歴史的資料と伝統芸能を保存し、次代に継承する。					名称			単位				
					① 文化・芸術の取組みに満足した人の割合			%				
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
(1) の 活動指標		① 団体			8	8	8	8	8			
		②										
(2) の 対象指標		① 団体			8	8	8	8	8			
		②										
(3) の 成果指標		① 団体			8	8	8	8	8			
		②										
(4) の結果の 成果指標		① %			71	71	71	71	75			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	05	目	06
コスト		年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	0	0	580	640	640	640	640			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	0	0	580	640	640	640	640			
人件費 B		千円	0	0	1,075.2	1,075.2	1,075.2	1,075.2	1,075.2			
正職員従事時間×人数		時間×人	0×0	0×0	160×2	160×2	160×2	160×2	160×2			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用 C		千円	0	0	4	4	4	4	4			
トータルコスト A+B+C		千円	0	0	1,659.2	1,719.2	1,719.2	1,719.2	1,719.2			
単位あたりコスト		① 千円/団体	0	0	207.4	214.9	214.9	214.9	214.9			
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名		No.	375	郷土芸能保存活動支援事業			
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない		理由	補助金により道具類の修繕や更新がなされ、適正な維持が図られており、十分な成果が得られている。	
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	☒ ある ☐ ない		その理由	囃子や棒の手以外で、地域に残る伝統的な郷土芸能について調査・研究し、事業の対象となりうるか検討する必要がある。	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	☒ ある ☐ ない		その理由	活用を視野に入れた保存計画等の策定をした場合は、活用を含めた保存・維持活動も目的とするように拡充する必要がある。	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容		活用を視野に入れた保存計画等を策定した場合は、国等の補助対象となりうる可能性がある。		
		目的達成状況	内 容		各団体とも良好に伝承がなされており、おおむね達成できている。		
		市関与の必要性 (実施手法)	内 容		☐ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金・負担金助成 ☐ 市の直営 補助金により保存団体と負担を分担		
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容		国や民間団体等の事業は限定的であり、かつ目的が一部異なるため類似事業とは言えず、統廃合できない。		
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内 容		事務の効率化をこれ以上図ることは難しく、事業費等の削減はできない。		
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☒ ある ☒ 現状で適正 ☐ ない ☐ 検討が必要 ☐ 受益者がいない		内 容	補助額及び補助率は適正である。	
	3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見	道具類の修繕や更新に要する経費が増加しており、保存団体から支援策の拡大が求められている。		対応策	国や民間団体等の実施する助成金等の情報を積極的に提供する。
R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度	8 団体		変 更 追 加	対象となる郷土芸能が囃子と棒の手であり、伝承する団体が限られているため変更なし。	
今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案				
☐ 拡大 ☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 ①保存団体の指導者等の熱意に支えられている郷土芸能の伝承活動が、今後も継続されるていくことが、文化財の保存と活用につながるものであり、現状の水準を維持する。 ②有形文化財と一体となった、活用を視野に入れた保存計画等の策定を検討する必要がある。				
コストの方向性			→ 維持				
成果の方向性			→ 維持				

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名	No.	376	郷土芸能伝承活動発表会開催事業					
	この事務事業 の位置	政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち						
		施策	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう						
		基本事業	文化・芸術						
	主管課名	教育行政課			課長名	林 久義			
	この事務事業の開始時期	昭和57年度			事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務			
	この事務事業の根拠法令	文化財保護法、みよし市文化財保護条例							
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由				
	①市内には囃子や棒の手、巫女舞といった郷土芸能が古くから伝わっている。 ②各地区において郷土芸能の伝承活動がされている。 ③市民に郷土郷土芸能に対する関心を深めてもらい、郷土芸能の保存団体の活動の励みとするため、郷土伝承活動発表会を開催する。				現在の状況 ①年に1回、9月中旬頃に文化センターサンアートにおいて発表会を実施している。 ②参加するのは、囃子、棒の手、巫女舞、和太鼓の伝承活動を行う団体である。 根拠または理由 郷土芸能の保存団体の活動継続と市民の関心の高まりを期待するとともに、伝統文化を保護保存し、次代に継承するため。				
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			第37回郷土芸能伝統活動発表会 ①開催日：令和元年9月8日（日） ②参加団体：囃子（7団体）、棒の手（1団体）、巫女舞（3団体）、和太鼓（2団体） ③説明会：2回開催					
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか				(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）					
変 化 内 容	会場や開催日、参加団体は時代に応じて変化している。			名称		単位			
				① 発表会開催回数		回			
				②					
対象（この事業の対象、範囲となる人、物）				(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）					
①市民				名称		単位			
②郷土芸能関連団体				① 人口		人			
				② 郷土芸能関連団体数		団体			
目的（この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか）				(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）					
①市民に郷土芸能に対する関心を深めてもらう。				名称		単位			
②郷土芸能関連団体に本発表会に参加してもらう。				① 観覧者数		人			
				② 発表会に参加した郷土芸能関連団体の数		団体			
結果（上位基本事業の意図）				(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）					
史跡、歴史的資料と伝統芸能を保存し、次代に継承する。				名称		単位			
				① 文化・芸術の取組みに満足した人の割合		%			
				②					
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標									
指標 \ 年度		単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値
(1) の 活動指標	① 回				1	1	1	1	1
	②								
(2) の 対象指標	① 人				61,153	61,040	61,570	62,100	62,360
	② 団体				13	13	13	13	13
(3) の 成果指標	① 人				632	700	750	800	850
	② 団体				13	13	13	13	13
(4) の結果の 成果指標	① %				71	71	71	71	75
	②								
予算費目		会計	01 一般会計				款 10	項 05	目 06
コスト		年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値
財 源 内 訳	事業費（決算又は予算額）A	単位	0	0	484	1,069	1,069	528	528
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	484	1,069	1,069	528	528
人件費B		千円	0	0	1,565.6	1,555.6	1,555.6	1,555.6	1,555.6
正職員従事時間×人数		時間×人	0×0	0×0	92×5	92×5	92×5	92×5	92×5
正職員以外の人件費		千円	0	0	20	10	10	10	10
その他の費用C		千円	0	0	75	75	75	75	75
トータルコストA+B+C		千円	0	0	2,124.6	2,699.6	2,699.6	2,158.6	2,158.6
単位あたりコスト ①		千円/人	0	0	0	0	0	0	0
(トータルコスト/ (2) の対象指標) ②		千円/団体	0	0	163.4	207.7	207.7	166	166

事務事業名		No.	376		郷土芸能伝承活動発表会開催事業		
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない		理 由	参観者数に変動はあるものの、参加団体からは本事業の継続を求められており、十分な成果が得られている。	
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	☒ ある ☐ ない		その理由	対象とする郷土芸能及び団体については、適宜拡大もしくは縮小させる必要がある。	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	☒ ある ☐ ない		その理由	発表会に参加する郷土芸能及び団体については、適宜追加もしくは絞込をする必要がある。	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容		対象となる郷土芸能に対する認知度を高めることにより、参観者数の増加が期待できる。		
		目的達成状況	内 容		対象となる郷土芸能の保存団体の大半が参加しており、おおむね達成できている。		
		市関与の必要性 (実施手法)	内 容		☐ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金・負担金助成 ☒ 市の直営 郷土芸能に対する認識と関心を高めるための事業であり、市が直接行う。		
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容		類似事業がないため、統廃合できない。		
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等ではないか？）	内 容		保存団体との協働であり、これ以上の効率化や事業費等の削減を図ることは難しい。		
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☒ ある ☒ 現状で適正 ☐ ない ☐ 検討が必要 ☐ 受益者がいない		内 容	参加にかかる費用等は保存団体の負担	
	3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見	令和2、3年度は改修工事のため文化センターサンアートでの開催ができない。		対応策	総合体育館等市内で代替施設を検討する。
R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度	文化センターサンアートで開催		変 更 ・ 追 加	総合体育館で開催	
今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案				
☐ 拡大 ☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 ①市民が地域の伝統文化である郷土芸能に対する関心を深める機会になっており、現状の水準を維持する。 ②今まで会場としてきたサンアートが令和2年7月から耐震改修工事のため使用できなくなり、代替会場として三好公園総合体育館を予定しているが、施設の目的外使用のため会場使用料が増大した。				
コストの方向性			→ 維持				
成果の方向性			→ 維持				

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	377	文化財環境保全事業							
	この事務事業 の位置		政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち								
			施策	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう								
			基本事業	文化・芸術								
	主管課名		教育行政課			課長名	林 久義					
	この事務事業の開始時期		昭和56年度			事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		文化財保護法、みよし市文化財保護条例									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	①紙や木、布などでできた文化財は、害虫の被害にあうことがある。 ②市指定有形文化財及び資料館収蔵資料を食害する害虫を駆除するため、山車保存庫（三好上区山車・三好下区山車）、金比羅宮（酒井家）、資料館のくん蒸処理（殺虫処理）を定期的に実施する。					現在の状況 ①文化財がおかれた環境にどの程度害虫がいるか調査を実施する。 ②市指定文化財の三好上区・三好下区山車の保存庫及び金比羅宮（酒井家）、資料館本館及び木造棟、収蔵庫のくん蒸処理をそれぞれ3年に1回実施している。 根拠または理由 市民共有の歴史的・文化的財産である市指定文化財及び資料館収蔵資料を害虫から保護し、適切な状態で維持保存するのは市の責務であるため。						
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等					①くん蒸処理対象：三好上区・下区山車保存庫 ②調査対象：三好上区・下区山車保存庫、金比羅宮（酒井家）、資料館本館及び木造棟、収蔵庫、石川家住宅						
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	①施設の老朽化等に伴い、これまでの方法でのくん蒸が困難となっている。 ②地球環境保護の観点から、薬剤に頼らない殺虫方法の導入が求められている。 ③屋外にある文化財の虫害が毎年報告されている。					名称			単位			
						① くん蒸処理箇所			箇所			
						② 害虫調査回数			回			
対象（この事業の対象、範囲となる人、物）					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
①市指定有形文化財 ②資料館収蔵資料					名称			単位				
					① 市指定有形文化財の数			件				
					② 資料館収蔵資料の数			件				
目的（この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか）					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
市指定有形文化財及び資料館収蔵資料を害虫の被害から保護し、良好な状態で保存する。					名称			単位				
					① 虫害を防止できた市指定有形文化財の数			件				
					② 虫害を防止できた資料館収蔵資料の数			件				
結果（上位基本事業の意図）					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
史跡、歴史的資料と伝統芸能を保存し、次代に継承する。					名称			単位				
					① 文化・芸術の取組みに満足した人の割合			%				
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
(1)の 活動指標	① 箇所				1	1	2	1	1			
	② 回				2	2	2	2	2			
(2)の 対象指標	① 件				4	4	4	4	4			
	② 件				9,144	9,244	9,344	9,444	9,544			
(3)の 成果指標	① 件				4	4	4	4	4			
	② 件				9,144	9,244	9,344	9,444	9,544			
(4)の結果の 成果指標	① %				71	71	71	71	75			
	②											
予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	05	目	06
コスト		年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
事業費（決算又は予算額）A		単位	0	0	2,908	3,715	352	352	2,552			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	0	0	2,908	3,715	352	352	2,552			
人件費B		千円	0	0	336	336	336	336	336			
正職員従事時間×人数		時間×人	0×0	0×0	50×2	50×2	50×2	50×2	50×2			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C		千円	0	0	4	4	4	4	4			
トータルコストA+B+C		千円	0	0	3,248	4,055	692	692	2,892			
単位あたりコスト		千円/件	0	0	812	1,013.8	173	173	723			
(トータルコスト/ (2) の対象指標)		千円/件	0	0	0.4	0.4	0.1	0.1	0.3			

事務事業名	No.	377	文化財環境保全事業
-------	-----	-----	-----------

2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない	理 由	指定有形文化財や資料館収蔵資料を虫害から保護することは、市の責務であり、成果も十分得られている。	
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	☒ ある ☐ ない	その理由	指定有形文化財が増加した場合、それらをくん蒸処理の対象とするかや、急を要する害虫被害に対してどのように対応していくかなど、検討していく必要がある。	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない	その理由	市民共有の財産である指定有形文化財や資料館収蔵資料を、害虫から保護して良好な状態で後世に伝えていくことは、市の責務である。	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容	害虫調査の回数及び期間を拡充し、害虫発生状況を的確に把握することによって、より成果は向上する。		
		目的達成状況	内 容	指定有形文化財及び資料館収蔵資料ともに、深刻な害虫被害は発生しておらず、おおむね達成できている。		
		市関与の必要性 (実施手法)	内 容	☒ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金・負担金助成 ☐ 市の直営 専門的な知識と技術を有する民間団体と協働		
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容	類似事業がないため、統廃合できない。		
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内 容	事務の効率化をこれ以上図ることは難しく、人件費の削減はできない。		
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☐ ある ☐ 現状で適正 ☐ ない ☐ 検討が必要 ☒ 受益者がいない	内 容	直接的な受益者はいない	

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見	文化財所有者から軽微な虫害発生の報告がある。	対応策	随時、職員による薬剤等による処置を実施
	R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	三好上区・下区山車	変 更 ・ 追 加	資料館収蔵資料
	今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案	
	☐ 拡大 ☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 ①害虫調査結果を踏まえて、くん蒸処理の実施の有無やタイミングを判断することも検討する必要がある。 ②くん蒸処理の方法や薬剤使用の有無などについて、調査研究する必要がある。	
コストの方向性			↓ 減少		
成果の方向性			→ 維持		

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	378	史跡整備管理事業												
	この事務事業 の位置		政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち													
			施策	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう													
			基本事業	文化・芸術													
	主管課名		教育行政課			課長名	林 久義										
	この事務事業の開始時期		平成2年度			事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務										
	この事務事業の根拠法令		文化財保護法、みよし市文化財保護条例														
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由											
	①市の歴史と文化を今に伝える貴重な史跡を整備保存し、広く公開するため、年3回の草刈り、雑木伐採等を実施し、史跡の環境を維持保全する。 ②福谷城跡は、学術調査により戦国時代の山城と確認され、平成2年4月に借地契約を締結し、史跡用地として保存管理している。 ③黒笹27号窯跡は、発掘調査後に遺構の保存処理をして現地保存されており、平成2年3月に社団法人愛知県トラック協会と土地使用貸借契約を締結し、史跡用地として保存管理している。					現在の状況 史跡用地として借地または使用契約している福谷城跡及び黒笹27号窯跡について、草刈り及び雑木処理を実施している。 根拠または理由 城跡や窯跡は、地域の歴史を現在に伝える貴重な文化財であり、適正な維持管理を行い、広く公開して、後世に受け継いでいく必要があるため。											
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等					①史跡用地の賃貸借及び使用貸借事務 ②史跡管理（年2回の草刈り及び雑木処理）											
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）												
変 化 内 容	①文化財保護法の改正により、活用を視野に入れた保護が求められている。 ②福谷城跡を含む公園整備計画の策定が予定されている。					<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>対象となる史跡の数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>草刈り等の管理実施回数</td> <td>回</td> </tr> </table>			名称		単位	①	対象となる史跡の数	件	②	草刈り等の管理実施回数	回
						名称		単位									
①	対象となる史跡の数	件															
②	草刈り等の管理実施回数	回															
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）												
市に残る代表的な史跡 ・福谷城跡、黒笹27号窯跡					<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>代表的な史跡の面積</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			名称		単位	①	代表的な史跡の面積	m ²	②			
					名称		単位										
①	代表的な史跡の面積	m ²															
②																	
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）												
適正に保存された史跡を広く公開するとともに、見学者がその価値を正しく認識し、かつ快適に見られるように維持する。					<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>代表的な史跡の公開面積</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			名称		単位	①	代表的な史跡の公開面積	m ²	②			
					名称		単位										
①	代表的な史跡の公開面積	m ²															
②																	
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）												
史跡、歴史的資料と伝統芸能を保存し、次代に継承する。					<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>文化・芸術の取組みに満足した人の割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			名称		単位	①	文化・芸術の取組みに満足した人の割合	%	②			
					名称		単位										
①	文化・芸術の取組みに満足した人の割合	%															
②																	
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標																	
指標 \ 年度		単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値								
(1)の 活動指標		① 件			2	2	2	2	2								
		② 回			2	2	2	2	2								
(2)の 対象指標		① m ²			4,327	4,327	4,327	4,327	4,327								
		②															
(3)の 成果指標		① m ²			4,327	4,327	4,327	4,327	4,327								
		②															
(4)の結果の 成果指標		① %			71	71	71	71	75								
		②															
予算費目		会計	01 一般会計				款 10	項 05	目 06								
コスト		年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値								
事業費(決算又は予算額) A		単位	0	0	1,682	1,775	1,775	1,775	1,775								
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0								
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0								
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0								
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0								
	一般財源	千円	0	0	1,682	1,775	1,775	1,775	1,775								
人件費 B		千円	0	0	675.4	675.4	675.4	675.4	675.4								
正職員従事時間×人数		時間×人	0×0	0×0	67×3	67×3	67×3	67×3	67×3								
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0								
その他の費用 C		千円	0	0	45	45	45	45	45								
トータルコスト A+B+C		千円	0	0	2,402.4	2,495.4	2,495.4	2,495.4	2,495.4								
単位あたりコスト ①		千円/m ²	0	0	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6								
(トータルコスト/(2)の対象指標) ②		千円/	0	0	0	0	0	0	0								

事務事業名		No.	378	史跡整備管理事業		
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない		理由	対象となる史跡は適正に管理され、広く公開されており、十分な成果が得られている。
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	☒ ある ☐ ない		その理由	新たに史跡が追加されたり、史跡の範囲が変更となった場合は、対象を見直すか検討する必要がある。
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	☒ ある ☐ ない		その理由	活用を視野に入れた保存計画等を策定した場合は、活用を含めた保存・維持活動も目的とするように拡充する必要がある。
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容		現在の成果指標について、これ以上の向上は難しい。	
		目的達成状況	内 容		現状においては適正に管理されており、おおむね達成できている。	
		市関与の必要性 (実施手法)	内 容		☒ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金・負担金助成 ☐ 市の直営 草刈り等の作業は委託業務にて実施	
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容		類似事業がないため、統廃合できない。	
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内 容		事務の効率化をこれ以上図ることは難しく、事業費等の削減はできない。	
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☐ ある ☐ 現状で適正 ☐ ない ☐ 検討が必要 ☒ 受益者がいない		内 容	直接的な受益者はいない。
	3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見	福谷城跡を含む公園整備計画の策定に伴い、住民によるワークショップを実施予定である。		対応策
R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度	草刈り及び雑木処理2回		変 更 追 加	保存として適正な回数であり、変更はない。
今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案			
☐ 拡大 ☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 ①史跡を良好な状態で保全する取り組みを継続することが、文化財の保存と活用に結びつくものであり、現状の水準を維持する。 ②活用を視野に入れた保存計画等の策定を検討する必要がある。 ③福谷城跡については、公園整備計画の策定に伴い、適宜対応していく。			
コストの方向性			→ 維持			
成果の方向性			→ 維持			

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	379	埋蔵文化財保存事業							
	この事務事業 の位置		政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち								
			施策	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう								
			基本事業	文化・芸術								
	主管課名		教育行政課			課長名	林 久義					
	この事務事業の開始時期		昭和53年度			事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		文化財保護法									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	①埋蔵文化財は、土地に埋蔵された状態での現状保存が原則であるが、開発事業に伴い現状保存できない場合は、発掘調査等を実施し記録保存するとともに、埋蔵文化財の詳細を報告書として後世に残す。 ②昭和53年に中部電力変電所地内の埋蔵文化財の発掘調査が行われて以来、埋蔵文化財の保存事業が継続して実施されている。 ③平成28年度から埋蔵文化財の面積や事業費が増加したため国庫補助を受けている。					現在の状況 ①埋蔵文化財の有無等を確認するための試掘調査や個人の専用住宅建設等の発掘調査は、国庫補助を受けている。 ②営利業者や公共団体による開発に伴う発掘調査は、原因者負担で行う。 根拠または理由 文化財保護法により、工事によって破壊されるものについては、発掘調査を行い記録保存し後世に残さなければならないため。						
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			①埋蔵文化財の有無確認及び開発計画の調整（有無の確認、結果通知、開発者との協議調整） ②発掘等の届出等に関わる業務（開発者との協議調整、発掘の届出等の受理、審査、県への送付） ③埋蔵文化財調査業務（委託契約、調査業務の監理、委託料の支払い、完了確認）								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	埋蔵文化財の有無の確認や試掘調査によって、記録保存されるべき遺跡の範囲が大きくなっている。				名称		単位					
					① 埋蔵文化財の有無の確認の申請件数		件					
					②							
対象(この事業の対象、範囲となる人、物) 開発等により失われる可能性がある埋蔵文化財					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
					名称		単位					
					① 遺跡が有ると回答した件数		件					
					②							
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか) 試掘や発掘調査を実施し、現状保存または記録保存する。					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
					名称		単位					
					① 試掘や発掘調査を実施した件数		件					
					②							
結果(上位基本事業の意図) 埋蔵文化財の保護と発掘調査の管理を行う。					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
					名称		単位					
					① 文化・芸術の取組みに満足した人の割合		%					
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
(1) の 活動指標		① 件			322	300	300	300	300			
		②										
(2) の 対象指標		① 件			87	80	80	80	80			
		②										
(3) の 成果指標		① 件			38	38	38	38	38			
		②										
(4) の結果の 成果指標		① %			71	71	71	71	75			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	05	目	06
コスト		年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	0	0	4,014	7,133	6,133	6,133	6,133			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	1,560	1,522	2,026	2,026	2,026			
	県支出金	千円	0	0	0	0	1,000	1,000	1,000			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	3,000	1,000	1,000	1,000			
	一般財源	千円	0	0	2,454	2,611	2,107	2,107	2,107			
人件費 B		千円	0	0	13,273.2	9,131.2	9,131.2	9,131.2	9,131.2			
正職員従事時間×人数		時間×人	0×0	0×0	605×4	605×4	605×4	605×4	605×4			
正職員以外の人件費		千円	0	0	5,142	1,000	1,000	1,000	1,000			
その他の費用 C		千円	0	0	175	175	175	175	175			
トータルコスト A+B+C		千円	0	0	17,462.2	16,439.2	15,439.2	15,439.2	15,439.2			
単位あたりコスト ①		千円/件	0	0	200.7	205.5	193	193	193			
(トータルコスト/(2)の対象指標) ②		千円/	0	0	0	0	0	0	0			

様式1-2

事務事業名		No.	379	埋蔵文化財保存事業		
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない		理由	開発に伴い失われる可能性のある遺跡については、適正に現状保存または記録保存できており、十分な成果が得られている。
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない		その理由	現状保存が原則であり、対象を見直す必要はない。
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない		その理由	文化財保護法に基づく事業であり、目的の見直しは必要ない。
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容		開発区域に入り、失われる可能性のある埋蔵文化財については、開発事業者と協議調整を行ったうえで現状保存または記録保存しており、これ以上の成果の向上は難しい。	
		目的達成状況	内 容		開発区域に入り、失われる可能性のある埋蔵文化財については、適正に現状保存または記録保存されており、おおむね達成できている。	
		市関与の必要性（実施手法）	内 容		☒ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金・負担金助成 ☐ 市の直営 業務委託した上で、指導監督を市が行っている。	
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容		試掘調査や個人住宅の開発、小さな事業者が行う500㎡未満の開発で、総額が400万円以上の事業であれば国庫補助が受けられるため、今後もできる限り補助をもらい対応する方向である。	
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内 容		事務の効率化をこれ以上図ることは難しく、また原因者負担分についても効率的に運用しており、これ以上の事業費等の削減はできない。	
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☒ ある ☒ 現状で適正 ☐ ない ☐ 検討が必要 ☐ 受益者がいない		内 容	大規模開発等に対しては、全額原因者負担
	3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見	国庫補助の対象外となる規模の民間開発事業であると、期間と費用の面で事業者の負担が増す。		対応策
R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度	開発事業等発掘調査業務委託 ①愛知大学跡地整理 ②市内分譲住宅開発 ③急傾斜地崩壊対策		変 更 追 加	開発事業等発掘調査業務委託 ①愛知大学跡地整理 ②市内分譲住宅開発
今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案			
☐ 拡大 ☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 国庫補助を継続的に受けしていくとともに、原因者負担となる開発があった場合は、速やかに関係各所と協議し、方向性を探っていく。			
コストの方向性			↓ 減少			
成果の方向性			→ 維持			

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	380	文化財資料購入事業				
	この事務事業 の位置		政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち					
			施策	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう					
			基本事業	文化・芸術					
	主管課名		教育行政課			課長名	林 久義		
	この事務事業の開始時期		昭和57年度			事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務		
	この事務事業の根拠法令		文化財保護法、みよし市文化財保護条例						
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由			
	①地域の歴史と文化に関わりの深い文化財資料を購入し、その散逸と消滅を防止する。 ②資料館の収蔵資料を拡充しながら、購入した文化財資料を、展示会等を通して広く公開する。					現在の状況 ①郷土出身の画家である伊豆原麻谷の作品を中心として、みよし市に関わりのある文化財資料を、文化財保護委員会の諮問を経て購入する。 ②購入した文化財を展示事業の中で一般に公開する。 根拠または理由 市の歴史と文化に関する文化財資料の散逸を防止するとともに、市民に郷土の歴史に関わる理解を深めてもらう必要があるため。			
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等		平成31年度は文化財資料の購入はなかった。						
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）				
変 化 内 容	質の高い麻谷作品が市場に出ることが少なくなり、また、出たとしても高値となることも多く、購入を見送らざるを得ないケースがある。				名称		単位		
					① 購入の諮問をした資料数		件		
		② 購入した文化財資料				件			
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）				
市にゆかりがあるため購入した文化財資料					名称		単位		
		① 購入した文化財資料の累計				件			
		②							
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）				
文化財資料として購入し、散逸と消滅を防止するとともに、展示や研究に利用する。					名称		単位		
		① 展示等に利用した購入文化財資料の数				件			
		②							
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）				
史跡、歴史的資料と伝統芸能を保存し、次代に継承する。					名称		単位		
		① 文化・芸術の取組みに満足した人の割合				%			
		②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標									
指標 \ 年度		単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値
(1)の 活動指標		① 件			0	1	1	1	1
		② 件			0	1	1	1	1
(2)の 対象指標		① 件			102	103	104	105	106
		②							
(3)の 成果指標		① 件			0	1	5	5	5
		②							
(4)の結果の 成果指標		① %			71	71	71	71	75
		②							
予算費目		会計	01 一般会計				款 10	項 05	目 07
コスト		年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値
事業費(決算又は予算額) A		単位	0	0	0	317	317	317	317
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	317	317	317	317
人件費 B		千円	0	0	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6
正職員従事時間×人数		時間×人	0×0	0×0	10×1	10×1	10×1	10×1	10×1
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0
その他の費用 C		千円	0	0	0	0	0	0	0
トータルコスト A+B+C		千円	0	0	33.6	350.6	350.6	350.6	350.6
単位あたりコスト ①		千円/件	0	0	0.3	3.4	3.4	3.3	3.3
(トータルコスト/(2)の対象指標) ②		千円/	0	0	0	0	0	0	0

様式1-2

事務事業名		No.	380	文化財資料購入事業		
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない	理 由	市にゆかりのある文化財資料の散逸を防いでおり、十分な成果が得られている。	
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない	その理由	市にゆかりのある文化財資料を収集していくことは、市の責務であり、対象を見直す必要はない。	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない	その理由	収集した文化財資料を市民共有の財産として展示や研究等で広く活用することは、市の責務であり、目的を見直す必要はない。	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容	市場に流通する購入対象の文化財資料の情報を幅広く収集する。		
		目的達成状況	内 容	購入が適当とされた文化財はすべて購入できており、その大半は展示等で活用されているため、おおむね達成できている。		
		市関与の必要性（実施手法）	内 容	☐ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金・負担金助成 ☒ 市の直営 収集は資料館の博物館活動の根幹であり、市が直営で行う。		
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容	類似事業がないため、統廃合はできない。		
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内 容	事務の効率化をこれ以上図ることは難しく、事業費等の削減はできない。		
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☐ ある ☐ 現状で適正 ☐ ない ☐ 検討が必要 ☒ 受益者がいない	内 容	直接的な受益者はいない。	
	3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見	伊豆原麻谷の優品を収蔵すべきと指摘されている。	対応策	優品は高額であり、出たときに購入できるように予算措置をしておく。
R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度	購入対象となる文化財資料がなかった。	変 更 追 加	いつ出るかわからないため、例年通りである	
今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案			
☐ 拡大 ☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 ①市にゆかりのある文化財の散逸を防止し、資料館が収蔵する文化財資料を拡充するため、継続的な購入が必要である。 ②高額な文化財資料を購入する手法として、基金などの方法を検討する必要がある。			
コストの方向性			→ 維持			
成果の方向性			→ 維持			

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	381	資料館施設管理事業							
	この事務事業 の位置		政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち								
			施策	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう								
			基本事業	文化・芸術								
	主管課名		教育行政課			課長名	林 久義					
	この事務事業の開始時期		昭和57年度			事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		文化財保護法、みよし市立歴史民俗資料館設置条例									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	①市の歴史と文化に関する資料を収集・保存し、それらを広く公開する施設として昭和57年11月に資料館が開館した。 ②増加する収蔵資料を収蔵するため、平成16年に旧給食センター（昭和48年建築）を収蔵庫として改修し、出土遺物と民具を収蔵している。 ③来館者の利便向上と館蔵資料の保護保全、適正な施設管理を図るため、老朽化した施設の整備・機器を整備充実する。					現在の状況 ①資料館本館及び木造棟は建築後38年が経過し、施設の設備機器の老朽化が進行している。 ②収蔵庫は建築後47年が経過しており、雨漏り等の老朽化が顕著である。 根拠または理由 博物館法に基づく公立博物館の類似施設として、その維持管理は設置者である市の負担で行う必要があるため。						
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等		①施設管理に関する業務（委託業務、修繕工事など） ②施設設備保守点検（設備機器保守委託など）									
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	開館から年数がたち、施設の老朽化が進んでいる。特に収蔵庫については、雨漏りに加え、内部のコンクリート壁の落剥など、著しく老朽化が進行しており、耐久性の低下が強く懸念される。				名称			単位				
					① 管理及び設備機器保守の業務件数			件				
					② 開館日数			日				
対象（この事業の対象、範囲となる人、物）					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
①資料館及び収蔵庫 ②市民					名称			単位				
					① 資料館及び収蔵庫の面積			m ²				
					② 人口			人				
目的（この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか）					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
修繕等の整備を行い、資料館及び収蔵庫を適正に管理し、多くの住民に安全に来館してもらう。					名称			単位				
					① 修繕・改修工事等の実施件数			件				
					② 入館者数			人				
結果（上位基本事業の意図）					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
史跡、歴史的資料と伝統芸能を保存し、次代に継承する。					名称			単位				
					① 文化・芸術の取組みに満足した人の割合			%				
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
(1) の 活動指標	①	件			8	8	8	8	8			
	②	日			307	300	300	300	300			
(2) の 対象指標	①	m ²			3,414	3,414	3,414	3,414	3,414			
	②	人			61,153	61,040	61,570	62,100	62,360			
(3) の 成果指標	①	件			1	2	2	2	2			
	②	人			2,676	3,000	3,300	3,600	3,900			
(4) の結果の 成果指標	①	%			71	71	71	71	75			
	②											
予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	05	目	07
コスト		年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
事業費（決算又は予算額）A		単位	0	0	18,742	14,925	7,086	7,452	8,389			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	6	3	0	0	0			
	一般財源	千円	0	0	18,736	14,922	7,086	7,452	8,389			
人件費B		千円	0	0	5,624.6	5,624.6	5,624.6	5,624.6	5,624.6			
正職員従事時間×人数		時間×人	0×0	0×0	279×6	279×6	279×6	279×6	279×6			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C		千円	0	0	277	277	277	277	277			
トータルコストA+B+C		千円	0	0	24,643.6	20,826.6	12,987.6	13,353.6	14,290.6			
単位あたりコスト		千円/m ²	0	0	7.2	6.1	3.8	3.9	4.2			
(トータルコスト/(2)の対象指標)		千円/人	0	0	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2			

事務事業名		No.	381	資料館施設管理事業		
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない		理 由	現時点において、ほぼ適正に管理されており成果は得られているが、このまま老朽化が進めば、今後修繕箇所が増大し、十分な成果が得られなくなる可能性がある。
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない		その理由	市民共有の財産であり、市の歴史と文化を後世に伝える資料を収集、保存、展示するための資料館及び収蔵庫を適正に管理するのは、市の責務であり、対象を見直す必要はない。
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない		その理由	市民共有の財産であり、市の歴史と文化を後世に伝える資料を収集、保存、展示するための資料館及び収蔵庫を適正に管理するのは、市の責務であり、目的を見直す必要はない。
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容		敷地や立地等の条件により、大規模改修等を行ったとしても、既存施設のままで、成果を向上させることは難しい。	
		目的達成状況	内 容		現状においては、致命的な建物劣化等は確認されておらず、おおむね達成できている。	
		市関与の必要性（実施手法）	内 容		☐ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金・負担金助成 ☒ 市の直営 収蔵資料を後世に伝えていくのは市の責務であり、直営で行う。	
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容		施設管理については、施設の新規建設や施設同士の統廃合によって成果が向上しうる。	
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内 容		事務の効率化をこれ以上図ることは難しい。 劣化の進行により、今後事業費は増加する可能性が高い。	
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☒ ある ☒ 現状で適正 ☐ ない ☐ 検討が必要 ☐ 受益者がいない		内 容	市の歴史と文化を伝える施設であり、現状で適正である。
	3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見	資料館の位置が分かりにくいとの声が多い。 収蔵庫の公開を望む声がある。		対応策
R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度	収蔵庫屋根等防水改修工事		変 更 ・ 追 加	いす式階段昇降機設置工事
今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案			
☐ 拡大 ☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 ①利用者の利便向上を図るため、順次、設備や機器を整備し、資料館の適正な維持管理を図る必要がある。 ②少しでも劣化の進行を遅らせる処置を検討するとともに、費用対効果を見極め、今後の資料館のあり方を検討する必要がある。			
コストの方向性			↓ 減少			
成果の方向性			→ 維持			

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	382	資料館展示事業				
	この事務事業 の位置		政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち					
			施策	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう					
			基本事業	文化・芸術					
	主管課名		教育行政課			課長名	林 久義		
	この事務事業の開始時期		昭和57年度			事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務		
	この事務事業の根拠法令		文化財保護法、みよし市立歴史民俗資料館設置条例						
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由			
	①広く市民に市の歴史や文化に対する理解を深めてもらうため、昭和57年に開館した。 ②寄贈、寄託及び購入により収集した資料館の収蔵資料及び他機関の所蔵資料等を展示紹介している。 ③平成29年度に常設展示をリニューアルした。					現在の状況 ①市の歴史や文化に関する資料を常時展示している。 ②資料館収蔵資料に加え、他の博物館等から資料を借用し、企画展や特別展を年4回開催している。 根拠または理由 市民をはじめとする来館者に、市の歴史や文化に対して興味関心を抱いてもらい、理解を深めてもらうことは、資料館の重要な機能であるため。			
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等					①常設展示（4/1～3/31） ②展示会（企画展・特別展） 春季企画展「発掘調査成果展」（4/27～6/23）、夏季企画展「東海の化石から探る、生きものの4億年」（7/20～9/8）、秋季特別展「稲垣輝行氏石器コレクション展」（10/19～12/15）、冬季企画展「第38回ひな人形展」（2/1～3/3）			
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）				
変 化 内 容	資料保護に対する意識が高まり、昭和57年当時の収蔵及び展示設備しか持たない当館での展示を断られるケースがある。				名称			単位	
					① 展示会の開催回数			回	
					② 展示会の開催日数			日	
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）				
市民					名称			単位	
					① 人口			人	
					②				
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）				
展示会を通じて、地域の歴史や文化に対して関心を持ってもらい、理解を深めてもらう。					名称			単位	
					① 展示会の開催期間中の入館者数			人	
					②				
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）				
企画展・体験講座の実施を通じて、歴史や伝統文化への理解を深める。					名称			単位	
					① 文化・芸術の取組みに満足した人の割合			%	
					②				
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標									
指標 \ 年度		単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値
(1)の 活動指標		① 回			4	3	4	4	4
		② 日			171	150	200	200	200
(2)の 対象指標		① 人			61,153	61,040	61,570	62,100	62,360
		②							
(3)の 成果指標		① 人			2,283	1,750	2,300	2,500	2,700
		②							
(4)の結果の 成果指標		① %			71	71	71	71	75
		②							
予算費目		会計	01 一般会計				款 10	項 05	目 07
コスト		年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値
事業費(決算又は予算額) A		単位	0	0	2,838	6,163	5,543	6,170	5,980
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	117	185	185	185	185
	一般財源	千円	0	0	2,721	5,978	5,358	5,985	5,795
人件費 B		千円	0	0	5,277.1	4,977.1	4,977.1	4,977.1	4,977.1
正職員従事時間×人数		時間×人	0×0	0×0	348×4	348×4	348×4	348×4	348×4
正職員以外の人件費		千円	0	0	600	300	300	300	300
その他の費用 C		千円	0	0	312	312	312	312	312
トータルコスト A+B+C		千円	0	0	8,427.1	11,452.1	10,832.1	11,459.1	11,269.1
単位あたりコスト ①		千円/人	0	0	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2
(トータルコスト/(2)の対象指標) ②		千円/	0	0	0	0	0	0	0

様式1-2

事務事業名		No.	382	資料館展示事業		
2 評価 CHECK	目的妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない		理由	市内をはじめ市外からも観覧者が来ており、十分な成果が得られている。
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない		その理由	市の歴史や文化を広く発信していくことは、市の責務であり、対象を見直す必要はない。
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	☒ ある ☐ ない		その理由	施設設備について見直しを行い、より質の高い、数多くの資料を展示することが求められる。
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容		設備等の更新がされ、より質の高い資料の展示ができれば成果は向上する。	
		目的達成状況	内 容		展示会の観覧者数が人口比3.7%であり、近隣と比較してもおおむね達成できている。	
		市関与の必要性（実施手法）	内 容		☒ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金・負担金助成 ☐ 市の直営 看板等については委託にて実施	
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容		類似事業がないため、統廃合はできない。	
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内 容		事務の効率化をこれ以上図ることは難しく、事業費等の削減はできない。	
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☐ ある ☒ 現状で適正 ☒ ない ☐ 検討が必要 ☐ 受益者がいない		内 容	市の歴史や文化を広く発信していくことは、市の責務である。
	3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見	場所がわかりにくいという声が非常に多い。 猿投古窯に関する要望が高まっている。		対応策
R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度	企画展等を年4回開催		変 更 追 加	施設工事に伴い、企画展等を年3回とする。
今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案			
☐ 拡大 ☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 ①地域の歴史と文化を知り、郷土を愛する心を培う機会を提供するため、展示事業を継続して実施する必要がある。 ②施設の更新を検討する必要がある。 ③資料館のあり方について、長期計画の策定を検討する必要がある。			
コストの方向性			↓ 減少			
成果の方向性			→ 維持			

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	383	資料館資料整理事業							
	この事務事業 の位置		政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち								
			施策	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう								
			基本事業	文化・芸術								
	主管課名		教育行政課			課長名	林 久義					
	この事務事業の開始時期		平成14年度			事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		文化財保護法、みよし市立歴史民俗資料館設置条例									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	①収蔵資料は市民共有の財産であり、市の歴史と文化を後世に伝えるため、適正に保存し、継承していく。 ②資料は寄贈、寄託、購入、採集、発掘などにより収集され、古文書、出土遺物、民具、美術工芸品、歴史資料などに分類される。 ③収集した資料は整理されなければ活用できず、適正な保管もできない。					現在の状況 古文書は1点ずつ表題などを記入した封筒に入れる。出土遺物は1点ずつ水洗、注記、分類をしてコンテナに入れる。民具や美術工芸品などは記録、分類して収蔵場所に収める。 根拠または理由 収蔵資料は市民共有の財産であり、これらの整理と活用は、資料館の活動の根幹であり、責務であるため。						
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等					①非常勤職員による埋蔵文化財整理 ②古文書保存マイクロフィルム撮影業務委託 ③館蔵資料修復業務委託						
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	①開館以来収集を行っており、収蔵庫の容量に余裕がなくなってきた。 ②整理作業を実施するにあたり、熟達した作業員の確保が難しい。					名称			単位			
						① 整理した出土遺物のコンテナ数			箱			
					② マイクロフィルムの撮影本数			本				
対象(この事業の対象、範囲となる人、物) 新たに寄贈などによって収集された資料					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
					名称			単位				
					① 新規収蔵資料の数			件				
					②							
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか) 適切に整理し、展示等で活用できるようにする。					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
					名称			単位				
					① 整理した資料の数			件				
					②							
結果(上位基本事業の意図) 歴史民俗資料館収蔵資料の整理、調査・研究などへの活用					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
					名称			単位				
					① 文化・芸術の取組みに満足した人の割合			%				
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
(1)の 活動指標	①	箱			5	5	5	5	5			
	②	本			10	10	10	10	10			
(2)の 対象指標	①	件			96	100	100	100	100			
	②											
(3)の 成果指標	①	件			96	100	100	100	100			
	②											
(4)の結果の 成果指標	①	%			71	71	71	71	75			
	②											
予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	05	目	07
コスト		年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	0	0	7,117	6,040	4,179	3,579	3,582			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	0	0	7,117	6,040	4,179	3,579	3,582			
人件費 B		千円	0	0	5,927.3	3,891.3	3,891.3	3,891.3	3,891.3			
正職員従事時間×人数		時間×人	0×0	0×0	262×4	262×4	262×4	262×4	262×4			
正職員以外の人件費		千円	0	0	2,406	370	370	370	370			
その他の費用 C		千円	0	0	8	8	8	8	8			
トータルコスト A+B+C		千円	0	0	13,052.3	9,939.3	8,078.3	7,478.3	7,481.3			
単位あたりコスト ①		千円/件	0	0	136	99.4	80.8	74.8	74.8			
(トータルコスト/(2)の対象指標) ②		千円/	0	0	0	0	0	0	0			

様式1-2

事務事業名		No.	383	資料館資料整理事業		
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない	理 由	収集した資料は、そのままでは展示や研究等には活用できないため、順次整理を行っており、十分な成果が得られている。	
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない	その理由	市民共有の財産である収蔵資料を適正に保存し、活用していくことは市の責務であり、対象を見直す必要はない。	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない	その理由	市民共有の財産である収蔵資料を適正に保存し、活用していくことは市の責務であり、目的を見直す必要はない。	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容	作業者の増員や一部委託を進めることにより、未整理資料が減少する。		
		目的達成状況	内 容	収集した資料は、同年度中にほぼ整理されているが、一部過年度より継続しているものもあり、およそ70%程度の達成率といえる。		
		市関与の必要性（実施手法）	内 容	☒ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金・負担金助成 ☐ 市の直営 市民の共有財産であり、一部委託しながら事業を進める。		
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容	類似事業がないため、統廃合はできない。		
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内 容	一部委託を進めることは可能であるが、事業費、人件費ともすでに効率化を図っており、これ以上事業費等が削減できるかは不明である。		
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☐ ある ☐ 現状で適正 ☐ ない ☐ 検討が必要 ☒ 受益者がいない	内 容	直接的な受益者はいない。	
	3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見	学校への出張授業等に活用したい。	対応策	貸出等を視野に入れて資料を収集、整理する。
R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度	非常勤職員による埋蔵文化財整理	変 更 ・ 追 加	会計年度任用職員による埋蔵文化財整理	
今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案			
☐ 拡大 ☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 ①未整理状態にある古文書や出土遺物等は、小中学校の教材や地域の歴史に関わる調査、研究、展示事業に活用することができず、また他の博物館からの借用依頼や資料調査にも対応できないため、事業の継続が必要である。 ②資料修復については、計画的に実施していく必要がある。 ③収蔵施設については、早急な対策立案が必要である。			
コストの方向性			↓ 減少			
成果の方向性			→ 維持			

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	384	石川家住宅管理事業												
	この事務事業 の位置		政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち													
			施策	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう													
			基本事業	文化・芸術													
	主管課名		教育行政課			課長名	林 久義										
	この事務事業の開始時期		平成23年度			事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務										
	この事務事業の根拠法令		文化財保護法、みよし市指定文化財石川家住宅設置条例														
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由											
	①石川家住宅は、座敷、長屋門、蔵など懐かしさを感じられる明治末期の住宅である。 ②明治43年に初代村長の石川愛治郎氏の新家兼隠宅として建設され、平成22年2月まで住居として使用されていた。 ③平成23年8月にみよし市有形文化財に指定、同年11月に土地、建物、調度品が一括で市へ寄贈された。 ④耐震補強等の整備を経て、平成26年度より一般公開して管理を行う。					現在の状況 ①築100年以上経った古民家であり、適宜修繕等を実施しながら施設の管理をしている。 ②寄贈を受けた調度品の整理や体感講座を実施している。 根拠または理由 指定文化財である建物に加え、庭や調度品も市民共有の財産であり、これらの整理と活用は、市の責務であるため。											
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			①施設の日常管理 ②設備機器保守委託業務 ③樹木等の剪定業務委託 ④体感講座等の実施 ⑤調度品の整理													
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）												
変 化 内 容	①総合学習等でむかしの暮らしを体感する機会として利用され、少しずつ認知度が上がっている。 ②経年劣化により定期的な修繕の必要な箇所がある。					<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>開館日数</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			名称		単位	①	開館日数	日	②		
						名称		単位									
						①	開館日数	日									
②																	
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）												
①市民 ②石川家住宅					<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>人口</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>石川家住宅の面積</td> <td>m²</td> </tr> </table>			名称		単位	①	人口	人	②	石川家住宅の面積	m ²	
					名称		単位										
					①	人口	人										
②	石川家住宅の面積	m ²															
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）												
適正に管理された石川家住宅に来てもらう。					<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>入館者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>調度品整理の完了率</td> <td>%</td> </tr> </table>			名称		単位	①	入館者数	人	②	調度品整理の完了率	%	
					名称		単位										
					①	入館者数	人										
②	調度品整理の完了率	%															
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）												
史跡、歴史的資料と伝統芸能を保存し、次代に継承する。					<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>文化・芸術の取組みに満足した人の割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			名称		単位	①	文化・芸術の取組みに満足した人の割合	%	②			
					名称		単位										
					①	文化・芸術の取組みに満足した人の割合	%										
②																	
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標																	
指標 \ 年度		単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値								
(1) の 活動指標		① 日			202	200	200	200	200								
		②															
(2) の 対象指標		① 人			61,153	61,040	61,570	62,100	62,360								
		② m ²			1,282	1,282	1,282	1,282	1,282								
(3) の 成果指標		① 人			4,523	4,600	4,700	4,800	4,900								
		② %			59	62	68	74	84								
(4) の結果の 成果指標		① %			71	71	71	71	75								
		②															
予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	05	目	07					
コスト		年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値								
事業費(決算又は予算額) A		単位	0	0	6,001	5,170	4,183	4,183	5,283								
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0								
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0								
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0								
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0								
	一般財源	千円	0	0	6,001	5,170	4,183	4,183	5,283								
人件費 B		千円	0	0	10,633	7,678	7,678	7,678	7,678								
正職員従事時間×人数		時間×人	0×0	0×0	435×5	435×5	435×5	435×5	435×5								
正職員以外の人件費		千円	0	0	3,325	370	370	370	370								
その他の費用 C		千円	0	0	8	8	8	8	8								
トータルコスト A+B+C		千円	0	0	16,642	12,856	11,869	11,869	12,969								
単位あたりコスト ①		千円/人	0	0	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2								
(トータルコスト/ (2) の対象指標) ②		千円/m ²	0	0	13	10	9.3	9.3	10.1								

様式1-2

事務事業名		No.	384	石川家住宅管理事業		
2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない		理 由	適正に管理されており、十分な成果が得られている。	
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない	その理由	市の歴史と文化を伝える石川家住宅を保存して継承していくことは、市の責務であり、対象を見直す必要はない。		
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない	その理由	市の歴史と文化を伝える石川家住宅を保存して継承していくことは、市の責務であり、目的を見直す必要はない。		
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容	①調度品の整理については、人件費が削減されたため効率が下がっており、会計年度任用職員を雇用して継続的に実施していかなければならない。 ②修繕や活用に関する計画を策定し、効率的に事業を実施する。			
	目的達成状況	内 容	管理についてはおおむね達成できているが、調度品の整理については59%の達成率である。			
	市関与の必要性（実施手法）	内 容	☐ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金・負担金助成 ☒ 市の直営 市の歴史と文化を伝える文化財であり、市で管理する。			
	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容	類似事業がないため、統廃合はできない。			
効率性	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等ではないか？）	内 容	人件費が削減されたため、効率が下がり、達成率への影響が見込まれており、これ以上削減すると事業が停滞し、十分な成果が得られなくなる。			
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☐ ある ☒ 現状で適正 ☒ ない ☐ 検討が必要 ☐ 受益者がいない	内 容	市の歴史と文化を次代に継承していくことが目的であり、現状で適正である。	
3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見	①経年劣化により修繕が必要な箇所がある。 ②早急な整理の完了		対応策	①景観を損ねないように配慮しながら計画的に修繕を行う。 ②現状では、これ以上の成果が望めないため、必要な人的、予算的措置を講じる。
	R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	整理事業員として臨時的非常勤職員を1名配置		変 更 ・ 追 加	配置なし
	今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案		
	☐ 拡大 ☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 ①寄贈された土地建物及び庭園を維持管理していく。 ②寄贈された調度品に関しては簡易な目録しかなく、保存及び管理のために整理及び調査が必要であるが、人件費の削減による事業の停滞を招いており、早急な改善が必要である。 ③活用を視野に入れた保存計画の策定を検討する必要がある。		
コストの方向性			↓ 減少			
成果の方向性			→ 維持			

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名	No.	449	芸術文化国際大会等出場者激励事業								
	この事務事業 の位置	政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち									
		施策	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう									
		基本事業	文化・芸術									
	主管課名	生涯学習推進課			課長名	橋本 慎一郎						
	この事務事業の開始時期	平成26年4月			事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務						
	この事務事業の根拠法令	みよし市芸術文化国際大会等出場者激励金交付要綱										
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由							
	芸術文化の分野において、国際大会等に出場する個人・団体に対し、激励金を交付し支援を行う。				奨励金を交付することにより、芸術文化の分野で活動を続ける市民の励みとなるとともに、芸術文化の振興および青少年の健全育成に寄与する。							
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等				①対象となる出場者より申請書の提出 ②激励金の交付 ③出場者から実績報告書の提出							
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか				(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）								
変 化 内 容	交付対象に変化がないため継続して実施			名称		単位						
				① 激励金の交付件数		人						
				②								
対象(この事業の対象、範囲となる人、物) 全国規模以上の大会等に出場する者(対象となる大会かつ、市民又は市民が所属する団体に限る)				(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）								
				名称		単位						
				① 国際大会出場者数		人						
				② 全国規模以上の大会等出場者数		人						
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか) 市民の芸術文化の振興が図られ、市民が大会等において好成績をおさめる。				(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）								
				名称		単位						
				① 全国大会入賞者数		人						
				②								
結果(上位基本事業の意図) 文化芸術の振興について市民の満足度があがる。				(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）								
				名称		単位						
				① 文化芸術の振興について市民の満足度		%						
				②								
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
(1)の 活動指標	①	人			1	11	11	11	11			
	②											
(2)の 対象指標	①	人			0	1	1	1	1			
	②	人			9	10	10	10	10			
(3)の 成果指標	①	人			9	11	11	11	11			
	②											
(4)の結果の 成果指標	①	%			37.1	50	50	50	50			
	②											
予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	05	目	08
コスト		年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	0	0	5	80	80	80	80			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	0	0	5	80	80	80	80			
人件費 B		千円	0	0	100.8	168	168	168	168			
正職員従事時間×人数		時間×人	0×0	0×0	30×1	50×1	50×1	50×1	50×1			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用 C		千円	0	0	0	0	0	0	0			
トータルコスト A+B+C		千円	0	0	105.8	248	248	248	248			
単位あたりコスト ①		千円/人	0	0	0	248	248	248	248			
(トータルコスト/(2)の対象指標) ②		千円/人	0	0	11.8	24.8	24.8	24.8	24.8			

事務事業名		No.	449	芸術文化国際大会等出場者激励事業	
-------	--	-----	-----	------------------	--

2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない	理 由	奨励金を交付することにより、芸術文化の分野で活動が続ける市民の励みとなっている。	
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありますか？	☐ ある ☒ ない	その理由	交付対象に変化がないため。	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありますか？	☐ ある ☒ ない	その理由	目的内容に変化がないため。	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容	市民へ広くPRする。		
		目的達成状況	内 容	近年、全国規模以上の大会等出場者数が増加している。		
		市関与の必要性（実施手法）	内 容	☐ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金・負担金助成 ☒ 市の直営 激励金の支給を行っている。		
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容	類似事業：国体、全国大会出場激励事業（スポーツ課） 統廃合しない。		
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等ではないか？）	内 容	激励金を現金で支給していたが、口座振込に変更する。		
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☐ ある ☒ 現状で適正 ☒ ない ☐ 検討が必要 ☐ 受益者がいない	内 容	大会等出場者への激励金のため、受益者負担なし。	

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見	対象が芸術文化の分野であるため、スポーツ部門と比較すると国際大会が少ない。	対応策	より多くの市民が芸術文化の分野で全国的に活躍できるよう、支援を継続していく。
	R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	過去3年以内に同じ分野で激励金の交付を受けている者は除外	変 更 追 加	過去3年以内に同じ分野で激励金の交付を受けている者も対象
	今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案	
	☐ 拡大 ☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 より多くの市民が芸術文化の分野で全国的に活躍できるよう、支援を継続していく。	
コストの方向性			→ 維持		
成果の方向性			→ 維持		

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名	No.	385	サンアート維持管理事業								
	この事務事業 の位置	政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち									
		施策	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう									
		基本事業	文化・芸術									
	主管課名	教育行政課			課長名	岡田 高行						
	この事務事業の開始時期	平成5年7月			事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務						
	この事務事業の根拠法令	みよし市勤労文化会館設置条例・みよし市ふるさと会館設置条例										
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由							
	文化センターサンアートの維持管理を指定管理者制度を活用し、民間企業に委託している。（平成27年4月1日～令和2年6月30日） サンアート全館休館しての大規模改修事業計画 令和2年7月～令和3年10月（予定）				施設の維持管理事業の効率化や民間ノウハウの活用といった面から指定管理者制度の活用は必要である。平成27年度から第3期目の指定管理である。平成5年の開館から25年以上が経過し、施設の老朽化している。平成27年度からは大規模改修工事に着手している。							
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等				指定管理者制度の導入により、会館管理全般（設備管理、清掃管理、夜間危機管理、樹木管理、舞台管理、受付業務等）と保守点検業務（舞台機構、舞台照明、エレベーター、自動扉等）を指定管理者への委託で実施している。							
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか				(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）								
変 化 内 容	平成19年4月から指定管理者導入			名称		単位						
				① 勤労文化会館の開館日数			日					
				② ふるさと会館の開館日数			日					
対象（この事業の対象、範囲となる人、物）				(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）								
①みよし市勤労文化会館				名称		単位						
②みよし市ふるさと会館				① 勤労文化会館の面積			m ²					
				② ふるさと会館の面積			m ²					
目的（この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか）				(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）								
①勤労文化会館が市民にとって、利用しやすく快適で安全な施設である。				名称		単位						
②ふるさと会館が日本文化紹介施設として、有効活用される。				① 勤労文化会館の利用者数			人					
				② ふるさと会館の利用者数			人					
結果（上位基本事業の意図）				(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）								
文化芸術活動に参加してもらう				名称		単位						
				① 自主的な活動件数			件					
				② 文化センターサンアート年間利用者数			人					
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
(1)の 活動指標	① 日				317	75	170	315	315			
	② 日				317	75	170	315	315			
(2)の 対象指標	① m ²				12,051.69	12,051.69	12,051.69	12,051.69	12,051.69			
	② m ²				402	402	402	402	402			
(3)の 成果指標	① 人				222,839	50,000	100,000	240,000	240,000			
	② 人				6,563	1,500	3,250	7,800	7,800			
(4)の結果の 成果指標	① 件				66		30	70	70			
	② 人				229,402	51,500	104,000	250,000	250,000			
予算費目	会計	01 一般会計					款	10	項	05	目	08
コスト	年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値				
事業費（決算又は予算額）A	単位	0	0	143,145	1,135,442	1,748,357	150,001	148,669				
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	16,973	0	0				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	500,000	700,000	0				
	その他	千円	0	0	7,093	502,036	919,000	7,940				
	一般財源	千円	0	0	136,052	116,433	129,357	142,061				
人件費B	千円	0	0	1,512	1,512	1,512	1,512	1,512				
正職員従事時間×人数	時間×人	0×0	0×0	450×1	450×1	450×1	450×1	450×1				
正職員以外の人件費	千円	0	0	0	0	0	0	0				
その他の費用C	千円	0	0	102	102	102	102	0				
トータルコストA+B+C	千円	0	0	144,759	1,137,056	1,749,971	151,615	150,181				
単位あたりコスト	① 千円/m ²	0	0	12	94.3	145.2	12.6	12.5				
(トータルコスト/(2)の対象指標)	② 千円/m ²	0	0	360.1	2,828.5	4,353.2	377.2	373.6				

事務事業名		No.	385	サンアート維持管理事業	
-------	--	-----	-----	-------------	--

2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない		理 由	広く民間活力を導入し、管理効率を高めるとともに、利用者にとって利用しやすい施設を維持することで、十分な成果が得られている。
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない	その理由	環境変化に伴う対象の変更が生じないため	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	☒ ある ☐ ない	その理由	環境変化に伴う目的の変更が生じないため	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容	指定管理者に対する適正な監理監督		
		目的達成状況	内 容	広く民間活力を導入し、管理効率を高めるとともに、利用者にとって利用しやすい施設を維持することで、目的が達成されている。		
		市関与の必要性（実施手法）	内 容	☐ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☒ 指定管理 ☐ 補助金・負担金助成 ☐ 市の直営 指定管理施設		
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容	類似事業なし		
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はいできないか？）	内 容	指定管理により、既に民間活力による管理を実施している。		
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☒ ある ☒ 現状で適正 ☐ ない ☐ 検討が必要 ☐ 受益者がいない	内 容	指定管理者との協定に基づく利用料金を徴収している	

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見	開館から30年以上が経過し、施設が老朽化してきている。	対応策	計画的に改修を行っていく。
	R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	指定管理者による施設管理	変 更 ・ 追 加	7月より大規模改修に伴う閉館。指定管理者選定審査会の開催。 エレベーター改修工事 一式 20,000千円（6月補正）
	今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案	
	☐ 拡大 ☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 大規模改修は、施設全体に渡る工事となるため、なるべく利用者への負担をかけない形で計画的に進めていく計画であったが、部分的な改修を順次行っていくことは改修年が長期に渡り、逆に利用者には不便をかけることになるため、利用者の理解・協力を得て、施設全体を休館とし、その期間中に必要な改修を実施する。	
コストの方向性					
↑ 増加					
成果の方向性					
↑ 増加					

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	450	アートプラザ開催事業				
	この事務事業 の位置		政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち					
			施策	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう					
	基本事業		文化・芸術						
	主管課名		生涯学習推進課		課長名	橋本 慎一郎			
	この事務事業の開始時期		平成10年度		事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務			
	この事務事業の根拠法令		なし						
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由				
	サンアートにおいて、市民が気軽に文化・芸術活動に触れてもらえるよう、アートプラザ事業としてみよし音楽祭「市民合唱交流会」を開催する。 また、みよし少年少女合唱団に対し補助金を交付し活動を支援している。				文化・芸術の拠点であるサンアートの市民参加型事業として市民の文化・芸術意識の高揚を図るため、広く市民の参加を募り市民合唱交流会を毎年11月に開催している。 みよし少年少女合唱団は、合唱を通じて次代を担う子どもたちに音楽文化の浸透を図るとともに、世代間交流を体験することにより青少年の健全育成を図る。				
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等				①合唱交流祭 11/25に開催 ②少年少女定期演奏会（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）				
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）				
変 化 内 容	合唱交流会の観客が減少している。 開催方法や集客方法について検討が必要				名称		単位		
					① コンサート等開催数		回		
					②				
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）				
市民					名称		単位		
					① 人口		人		
					②				
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）				
①発表の場を提供し、音楽活動を広める ②身近に生演奏を鑑賞することで、音楽への鑑賞を高める					名称		単位		
					① 出演したアーティスト数		人		
					② コンサート入場者数		人		
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）				
文化芸術活動に参加してもらう					名称		単位		
					① 自主的な活動件数		件		
					② 文化センターサンアートの年間利用者数		人		
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標									
指標 \ 年度		単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値
(1)の 活動指標		① 回			1	2	2	2	2
		②							
(2)の 対象指標		① 人			61,040	61,570	62,100	62,360	62,620
		②							
(3)の 成果指標		① 人			254	300	300	300	300
		② 人			480	500	1,000	1,000	1,000
(4)の結果の 成果指標		① 件			66	10	28	70	70
		② 人			229,402	33,000	92,400	231,000	231,000
予算費目		会計	01 一般会計				款 10	項 05	目 08
コスト		年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値
事業費(決算又は予算額) A		単位	0	0	1,314	1,390	1,388	1,388	1,388
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	1,314	1,390	1,388	1,388	1,388
人件費 B		千円	0	0	2,419.2	2,318.4	2,318.4	2,318.4	2,318.4
正職員従事時間×人数		時間×人	0×0	0×0	240×3	230×3	230×3	230×3	230×3
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0
その他の費用 C		千円	0	0	83	83	83	83	83
トータルコスト A+B+C		千円	0	0	3,816.2	3,791.4	3,789.4	3,789.4	3,789.4
単位あたりコスト ①		千円/人	0	0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
(トータルコスト/(2)の対象指標) ②		千円/	0	0	0	0	0	0	0

様式1-2

事務事業名		No.	450	アートプラザ開催事業		
2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない		理 由	参加団体数が減少しておらず、活動団体に発表の場を提供するため必要である。	
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありますか？	☐ ある ☒ ない	その理由	対象者の範囲に変化がないため。		
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありますか？	☐ ある ☒ ない	その理由	目的内容に変化がないため。		
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容	各催し物の開催時期を、他のイベントと連携して実施する。			
	目的達成状況	内 容	毎年、全申込団体が出演しており、目的は達成している。			
	市関与の必要性（実施手法）	内 容	☐ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金・負担金助成 ☒ 市の直営 みよし少年少女合唱団運営事業補助金を交付する。			
効 率 性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容	類似する他の事業がないため統廃合はできない。			
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等ではないか？）	内 容	会場をサンアート大ホールから、小ホールに変更して開催する。			
公 平 性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☐ ある ☒ 現状で適正 ☒ ない ☐ 検討が必要 ☐ 受益者がいない	内 容	市が主催する事業のため、受益者負担なし。		
3 改 革 改 善 案 A C T I O N	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見	市民合唱交流会は出演団体が固定化しつつある。 みよし少年少女合唱団は今後の自主運営の基礎を固められるよう支援する必要がある。	対応策	合唱団の枠にとらわれない市民参加型事業として開催していく。 みよし少年少女合唱団は今後の自主運営の基礎を固められるよう支援する必要がある。	
	R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	市民合唱交流会をサンアートで開催	変 更 ・ 追 加	市民合唱交流会をおかよし交流センターで開催予定	
	今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案		
	☐ 拡大 ☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 市民合唱交流会は合唱団の枠にとらわれない市民参加型事業として開催していく。 みよし少年少女合唱団は今後の自主運営の基礎を固められるよう支援する必要がある。		
コストの方向性			→ 維持			
成果の方向性			→ 維持			